

## 男女共同参画社会に向けての県民意識調査 アンケート調査票

### 調査ご協力をお願い

県では、男女共同参画社会の実現に向け、様々な施策に取り組んでいます。  
このアンケート調査は、今後の施策推進の基礎資料として、県民の皆さまの意識や考え、  
実態などをお尋ねするものです。  
調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和6年7月 長崎県知事 大石賢吾



#### 《アンケート調査について》

- ◎県内にお住まいの満18歳以上の方から無作為に抽出した3,000人の方を対象とし、  
下記調査実施機関に委託して行います。
- ◎回答内容はすべて統計資料として処理しますので、個人の回答が特定されることは  
ありません。
- ◎集計結果は県ホームページで公表します。

全部で20問、20分程度で回答できる内容です。

#### 《記入上の注意》

- ◎宛名のご本人がお答えください。ただし、ご本人がお答えできないような状態の場合に  
は、代理の方をお願いします。
- ◎お答えは、当てはまる回答の番号に○印をつけてください。「その他」に○印をつけた  
場合は、( )の中に具体的内容をご記入ください。

#### 《インターネットでの回答》

- ◎インターネットでも回答ができます。その際は、調査票の返信は不要です。  
パソコン入力の場合(URL) <https://forms.office.com/r/VGf12TJA9N>



← スマートフォンの場合は、こちらのQRコードを読み取ってください。

《回答期限》 **令和6年7月31日(水)** までにご回答をお願いします。

#### 《お問い合わせ先》

〒850-8570 長崎市尾上町3-1  
長崎県県民生活環境部  
男女参画・女性活躍推進室  
TEL:(095)822-4729  
FAX:(095)822-4739

#### 《調査実施機関》

〒816-0932 福岡県大野城市瓦田4丁目  
14-39 キッズデュオ大野城2F  
エイジス九州株式会社  
TEL:(092)558-2258  
FAX:(092)558-2259

## 男女共同参画社会とは

男女が互いに人権を尊重し、責任を分かち合いながら、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる社会です。

こんな社会を目指しています。

家庭では



学校では



男性も女性も、  
みんなが協力して  
みんなが責任をもって  
性別に関係なく  
活動できたらいいですね



職場では

〇〇シンポジウム



地域では

あなたご自身のことについてお尋ねします。

問1 差し支えなければ、あなたの戸籍上の性別をお答えください。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢をお尋ねします。(※令和6年7月1日現在でお答えください。)

- |         |          |         |         |         |
|---------|----------|---------|---------|---------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代  | 3. 30歳代 | 4. 40歳代 | 5. 50歳代 |
| 6. 60歳代 | 7. 70歳以上 |         |         |         |

問3 あなたの職業をお答えください。

該当する番号(1~10)1つに○をつけてください。

なお、4~7の場合は、その右の欄にも○をつけてください。

|                         |                                                          |
|-------------------------|----------------------------------------------------------|
| <b>自営業者</b><br>(含家族従業員) | 1. 農業・林業・漁業<br>2. 商工業・サービス業(各種卸・小売店、飲食店等サービス業)<br>3. その他 |
| <b>勤め人</b>              | 4. 事務職<br>5. 専門・技術職<br>6. 生産・輸送・建設・労務職<br>7. その他         |
| <b>無職</b>               | 8. 主婦・主夫<br>9. 学生<br>10. その他                             |

➡

|              |                                                |
|--------------|------------------------------------------------|
| <b>その仕事は</b> | ① 正社員<br>② 非正規社員<br>(パート・アルバイト・派遣社員等)<br>③ その他 |
|--------------|------------------------------------------------|

問4 あなたは現在結婚していますか。(○は1つ)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 結婚している(結婚していないがパートナーと暮らしている人を含む) |
| 2. 離別・死別      3. 未婚                 |

問4-1 問4で1.と答えた人のお尋ねします。

あなたの配偶者・パートナーは今、働いていますか。(○は1つ)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 働いている | 2. 働いていない |
|----------|-----------|

問5 あなたの世帯は次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- |               |                                |
|---------------|--------------------------------|
| 1. 単身世帯       | 4. 三世帯世帯(親・子・孫)                |
| 2. 夫婦のみの世帯    | 5. その他(                      ) |
| 3. 二世帯世帯(親・子) |                                |

問6 あなたはどちらにお住まいですか。

市町名をご記入ください。(                                      )

男女共同参画について、あなたのお考えをお尋ねします。

# 1. 男女平等について

問1 あなたは、次の分野において男女は平等になっていると思いますか。  
(1)～(8)のそれぞれについて、右の1～6の中からあなたの考えに最も近いものを1つお選びください。

|                 | 男性の方が<br>非常に優遇 | 男性の方が<br>やや優遇 | どちらかと<br>言えば男性<br>の方が優遇 | 平等である | どちらかと<br>言えば女性<br>の方が優遇 | 女性の方が<br>非常に優遇 | わからない |
|-----------------|----------------|---------------|-------------------------|-------|-------------------------|----------------|-------|
| (1)家庭生活         | 1              | 2             | 3                       | 4     | 5                       | 6              |       |
| (2)職場           | 1              | 2             | 3                       | 4     | 5                       | 6              |       |
| (3)学校教育         | 1              | 2             | 3                       | 4     | 5                       | 6              |       |
| (4)地域活動         | 1              | 2             | 3                       | 4     | 5                       | 6              |       |
| (5)法律や制度上       | 1              | 2             | 3                       | 4     | 5                       | 6              |       |
| (6)政治や行政の政策決定の場 | 1              | 2             | 3                       | 4     | 5                       | 6              |       |
| (7)社会通念、慣習・しきたり | 1              | 2             | 3                       | 4     | 5                       | 6              |       |
| (8)社会全体         | 1              | 2             | 3                       | 4     | 5                       | 6              |       |

問2 あなたは、次にあげる言葉を知っていますか。  
(1)～(9)のそれぞれについて、右の1～3の中から1つお選びください。

|                         | 内容まで<br>知っている | 聞いたことは<br>あるが内容は<br>知らない | 知らない |
|-------------------------|---------------|--------------------------|------|
| (1)男女共同参画社会             | 1             | 2                        | 3    |
| (2)男女雇用機会均等法            | 1             | 2                        | 3    |
| (3)育児休業制度・介護休業制度        | 1             | 2                        | 3    |
| (4)ワーク・ライフ・バランス         | 1             | 2                        | 3    |
| (5)ジェンダー                | 1             | 2                        | 3    |
| (6)ジェンダーギャップ指数          | 1             | 2                        | 3    |
| (7)無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス) | 1             | 2                        | 3    |
| (8)長崎県男女共同参画推進センター      | 1             | 2                        | 3    |
| (9)ウーマンズジョブほっとステーション    | 1             | 2                        | 3    |

## 2. 家庭生活・地域活動について

問3 家庭生活において、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方があります。これについて、あなたの考えに最も近いものを1つお選びください。

- 1. 賛成
- 2. どちらかと言えば賛成
- 3. どちらかと言えば反対
- 4. 反対
- 5. わからない

➡ 問3-1 へ

➡ 問3-2 へ

問3-1 賛成と思うのはなぜですか。(○はいくつでも)

- 1. 日本の伝統的な家族の在り方だから
- 2. 自分の両親も役割分担をしていたから
- 3. 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られるから
- 4. 妻が家庭を守った方が、子どもの成長などに良いから
- 5. 家事・子育て・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だから
- 6. その他( )

問3-2 反対と思うのはなぜですか。(○はいくつでも)

- 1. 男女平等に反するから
- 2. 自分の両親も働いていたから
- 3. 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られるから
- 4. 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いから
- 5. 夫も妻も家事・子育て・介護と両立しながら、働き続けることは可能だから
- 6. 固定的な夫と妻の役割分担を押しつけるべきではないから
- 7. その他( )

結婚している人(未婚だがパートナーと暮らしている人を含む)は、問4、問5へ  
それ以外の方は、問6へ

問4 あなたの家庭では、家事等の分担をどうしていますか。

(1)～(10)それぞれについて、右の1～8の中から現状に最も近いものを1つお選びください。

|            |                    | ほとんど自分 | どちらかと言えば自分 | 配偶者と同じ程度分担 | どちらかと言えば配偶者 | ほとんど配偶者 | 親や子どもなど他の家族 | 代行業者等 | わからない又は該当なし |
|------------|--------------------|--------|------------|------------|-------------|---------|-------------|-------|-------------|
| 家事等の<br>分担 | (1)食料品などの買い物       | 1      | 2          | 3          | 4           | 5       | 6           | 7     | 8           |
|            | (2)食事のしたく          | 1      | 2          | 3          | 4           | 5       | 6           | 7     | 8           |
|            | (3)食後の片づけ          | 1      | 2          | 3          | 4           | 5       | 6           | 7     | 8           |
|            | (4)掃除              | 1      | 2          | 3          | 4           | 5       | 6           | 7     | 8           |
|            | (5)洗濯              | 1      | 2          | 3          | 4           | 5       | 6           | 7     | 8           |
|            | (6)子育て             | 1      | 2          | 3          | 4           | 5       | 6           | 7     | 8           |
|            | (7)子どもの教育          | 1      | 2          | 3          | 4           | 5       | 6           | 7     | 8           |
|            | (8)PTA(学校行事など)への参加 | 1      | 2          | 3          | 4           | 5       | 6           | 7     | 8           |
|            | (9)地域活動への参加        | 1      | 2          | 3          | 4           | 5       | 6           | 7     | 8           |
|            | (10)高齢者の世話・介護      | 1      | 2          | 3          | 4           | 5       | 6           | 7     | 8           |

問4で 1, 2 を一つでも選んだ人は、問4-1、問4-2へ それ以外の人は、問5へ

問4-1 問4であなたがやっている家事等の分担についてお尋ねします。その分担はどのように決まりましたか。最も近いものを選んでください。(○は1つ)

1. 自分でやりたい(できる)から
2. 家族がしない(できない)から
3. 自分がやるのが当然と思われているから
4. 男女が共に家事をするのは当然だから
5. (1～4に当てはまらない場合で)家族との話し合い
6. その他( )

問4-2 現在の分担を全体的にみて、あなたは満足していますか。(○は1つ)

1. 満足
2. どちらかと言えば満足
3. どちらかと言えば不満
4. 不満
5. どちらともいえない

- 問5 あなたの家庭では家計費の管理などを最終的に決定しているのはどなたですか。  
(1)～(4)それぞれについて、右の1～7から現状に最も近いものを1つお選びください。

|       |                | ほとんど自分 | どちらかと言えば自分 | 配偶者と同じ程度分担 | どちらかと言えば配偶者 | ほとんど配偶者 | 親や子どもなど他の家族 | わからない又は該当なし |
|-------|----------------|--------|------------|------------|-------------|---------|-------------|-------------|
| 最終決定者 | (1)家計費の管理      | 1      | 2          | 3          | 4           | 5       | 6           | 7           |
|       | (2)土地、家屋の購入    | 1      | 2          | 3          | 4           | 5       | 6           | 7           |
|       | (3)子どもの教育方針や進路 | 1      | 2          | 3          | 4           | 5       | 6           | 7           |
|       | (4)介護問題        | 1      | 2          | 3          | 4           | 5       | 6           | 7           |

- 問6 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動を積極的に行っていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 男性自身の抵抗感をなくす
2. 女性の抵抗感をなくす
3. 家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをはかる
4. 夫婦の役割分担の考え方を、まわりの人が尊重する
5. 社会の中で、その評価を高める
6. 多様な働き方を普及させ、仕事以外の時間を多く持てるようにする
7. 男性が家事等に関心を高めるよう、啓発や情報提供を行う
8. 地方自治体などの研修等により男性の家事、子育て、介護等の技能を高める
9. 男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間(ネットワーク)づくりをすすめる
10. 家庭と仕事の両立について、男性が相談しやすい窓口を設ける
11. 職場の中で、理解し支援する
12. 特に必要なことはない
13. わからない
14. その他( )

### 3. 就労及びワーク・ライフ・バランスについて

※「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」とは、一人ひとりが、やりがいや充実感などを感じながら働いて仕事上の責任を果たすことと、仕事以外でやりたいこと(家庭生活や地域活動など)との両方が実現できる状態にあることです。

問7 あなたは、進路や職業を選択する際に、性別を意識しましたか。(○は1つ)

1. 性別をかなり意識した
2. どちらかと言えば性別を意識した
3. どちらかと言えば性別を意識しなかった
4. ほとんど(全く)性別を意識しなかった
5. わからない

現在、働いている人(パート・アルバイト・派遣社員等の非正規社員や、休暇・休業中も含む)は問8、問9へ 働いていない人は問10、問10-1へ

問8 あなたの職場では、次にあげるそれぞれの場面で性別によって差があると思いますか。(1)～(6)のそれぞれについて、右の1～6の中から、あなたの考えに最も近いものを1つお選びください。

|                   | 男性の方が非常に優遇 | どちらかと言えば男性の方が優遇 | 性別によって差はない | どちらかと言えば女性の方が優遇 | 女性の方が非常に優遇 | わからない |
|-------------------|------------|-----------------|------------|-----------------|------------|-------|
| (1)募集・採用の機会や条件    | 1          | 2               | 3          | 4               | 5          | 6     |
| (2)賃金・昇進・昇格       | 1          | 2               | 3          | 4               | 5          | 6     |
| (3)教育や研修制度        | 1          | 2               | 3          | 4               | 5          | 6     |
| (4)育児・介護休業の取得しやすさ | 1          | 2               | 3          | 4               | 5          | 6     |
| (5)仕事の内容          | 1          | 2               | 3          | 4               | 5          | 6     |
| (6)全体的に           | 1          | 2               | 3          | 4               | 5          | 6     |

問9 あなたは、現在の職場で昇進やキャリアアップをしたいと思いますか。(○は1つ)

1. したい

2. したくない

3. わからない



問9-1 へ



問9-2 へ

問9-1 昇進やキャリアアップをしたい理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. よりやりがいのある仕事ができる
2. 賃金が上がる
3. 能力が認められた結果である
4. まわりから評価される
5. 自分自身で決められる事柄が多くなる
6. その他( )

問9-2 昇進やキャリアアップをしたくない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- |                           |                 |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 責任が重くなるのが嫌だ            | 6. 転勤がある        |
| 2. 時間外労働が増える              | 7. 仕事と家庭の両立が困難だ |
| 3. 自分の能力に自信がない            | 8. 今のままで不満はない   |
| 4. いつまでもこの会社で働きつづけるつもりがない | 9. メリットがない      |
| 5. 同僚からねたまれるのが嫌だ          | 10. その他( )      |

現在、働いていない人は 問10、問10-1 へ  
問8、問9(問9-1、問9-2)を回答した人は、問11 へ

問10 あなたが働いていない理由に近いものに○をつけてください。(○は1つ)

- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| 1. 適当な仕事が見つからない      | 7. 経済的に働く必要がない |
| 2. 能力や技術に自信がない       | 8. 働きたくない      |
| 3. 健康に自信がない          | 9. 現在、学校に通っている |
| 4. 家事や子育てがおろそかになる    | 10. 高齢である      |
| 5. 高齢者や病人の介護がおろそかになる | 11. 特に理由なし     |
| 6. 趣味やボランティア活動などに忙しい | 12. その他( )     |

問10-1 あなたは今後、働きたいと思いますか。(〇は1つ)

1. すぐにでも働きたい → 問10-2      3. 働くつもりはない → 問11へ  
2. そのうち働きたい → 問10-3へ      4. わからない

問10-2 問10-1で働きたいと答えたのはなぜですか。(〇はいくつでも)

1. 収入を得たい  
2. 社会の一員として、務めを果たしたい  
3. 自分の才能や能力を発揮したい  
4. 生きがいになる  
5. その他( )

問10-3 あなたはどのような形で働きたいですか。(〇は1つ)

1. 正社員  
2. 非正規社員(パート・アルバイト・派遣社員等)  
3. 自営業  
4. その他( )

問11～15は全員にお尋ねします。

問11 「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」に関して、(1)～(3)のそれぞれについて、右の1～5の中から、最も近いものを1つお選びください。

|                    | 家庭生活や<br>地域活動より<br>仕事に専念 | 家庭生活や<br>地域活動より<br>仕事を優先 | 家庭生活や<br>地域活動と<br>仕事を両立 | 仕事より家庭<br>生活や地域<br>活動を優先 | 仕事より家庭<br>生活や地域<br>活動に専念 |
|--------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|
| (1)女性にとっ<br>て望ましい形 | 1                        | 2                        | 3                       | 4                        | 5                        |
| (2)男性にとっ<br>て望ましい形 | 1                        | 2                        | 3                       | 4                        | 5                        |
| (3)あなたの<br>現在の状況   | 1                        | 2                        | 3                       | 4                        | 5                        |

問12 女性が働くことについて、あなたの考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

- |                                     |                   |
|-------------------------------------|-------------------|
| 1. 働く方がよい                           | 2. 結婚するまでは、働く方がよい |
| 3. 子どもができるまでは、働く方がよい                |                   |
| 4. 子どもができたら退職し、子育てが落ち着いた後、再就職する方がよい |                   |
| 5. 子どもができても、働き続ける方がよい               | 6. 働かない方がよい       |
| 7. わからない                            |                   |
| 8. その他( )                           |                   |

問13 子どもができたら退職し、子育てが落ち着いた後、再就職を希望する場合、女性が再就職するためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- |                                  |              |
|----------------------------------|--------------|
| 1. 就職情報を積極的に提供                   | 2. 技能習得機会の充実 |
| 3. 結婚・出産などによる退職者の再雇用制度の普及・促進     |              |
| 4. 労働時間の短縮やフレックスタイム制(自由勤務時間制)の導入 |              |
| 5. 採用の年齢制限の廃止や緩和を促進              |              |
| 6. 女性が働くことに対する、家族や職場などの理解・協力を深める |              |
| 7. 子育てや介護のための施設やサービスの充実          |              |
| 8. 特に必要なことはない                    | 9. わからない     |
| 10. その他( )                       |              |

問14 子育て等により退職することなく、継続して女性が働くには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- |                                    |                     |
|------------------------------------|---------------------|
| 1. 賃金・昇進・昇格における男女格差をなくす            |                     |
| 2. 仕事内容における男女格差をなくす                |                     |
| 3. 男女双方が長時間労働の習慣を改める               |                     |
| 4. 労働時間の短縮やフレックスタイム制(自由勤務時間制)を導入   |                     |
| 5. 企業経営者や職場の理解を深める                 | 6. 育児休業・介護休業等制度の充実  |
| 7. 正社員としての雇用を増やす                   |                     |
| 8. 非正規(パート・アルバイトや派遣社員等)の労働条件をよくする  |                     |
| 9. 起業する人への支援の充実                    |                     |
| 10. 子育てや介護のための施設やサービスの充実           |                     |
| 11. パートナー(男性)の理解・協力を得られるようにする      |                     |
| 12. パートナー(男性)以外の親族の理解・協力を得られるようにする |                     |
| 13. 女性自身の就業意欲を高める                  | 14. 結婚・出産退職等の慣行を改める |
| 15. 特に必要なことはない                     | 16. わからない           |
| 17. その他( )                         |                     |

問15 あなたは、男性が「育児休業制度・介護休業制度」を利用することについてどう考えますか。(1)(2)のそれぞれについて、あなたの考えに最も近いものを1つお選びください。

|         | 積極的に<br>取るべきである | 取ることは賛成だが、<br>現実には取りづらいと思う | 男性が休みを取る必要はない | わからない |
|---------|-----------------|----------------------------|---------------|-------|
| (1)育児休業 | 1               | 2                          | 3             | 4     |
| (2)介護休業 | 1               | 2                          | 3             | 4     |

2を選んだ人は、問15-1へ それ以外の人は、問16へ

問15-1 現実には取りづらい理由は何だと思いますか。(○は2つまで)

1. 過去に同僚の男性で取った人がいない
2. 職場に取りやすい雰囲気がない
3. 仕事が忙しい
4. 取ると仕事で周囲の人に迷惑がかかる
5. 取ると人事評価や昇給などに悪い影響がある
6. 休業補償が十分でないので経済的に困る
7. 男性が取ることについて、社会全体の理解が十分でない
8. その他( )



#### 4. 人権(ストーカー・セクハラ・DV/デートDV)について

※「ストーカー」とは、繰り返し行われるつきまとい行為のことです。

※「セクハラ(セクシュアル・ハラスメント)」とは、性的いやがらせ(男女間だけではなく同性間を含む)のことです。

※「DV(ドメスティック・バイオレンス)/デートDV」とは、配偶者や恋人・交際相手など親密な関係にある者、またはあった者からふるわれる身体的・精神的・経済的・性的な暴力のことです。

問16 「ストーカー・セクハラ(セクシュアル・ハラスメント)」についてお尋ねします。  
あなたはこれまでに、次のような行為で不快な思いをしたことがありますか。  
下の(1)～(13)それぞれについて、ある場合は1に、ない場合は2に○をつけてください。

|                                 | ある | ない |
|---------------------------------|----|----|
| (1) 帰宅途中などに後をつけられたり、つきまとわれたりした  | 1  | 2  |
| (2) プライバシーや性的な内容に関する電話・メール等を受けた | 1  | 2  |
| (3) 嫌がっているのに卑猥な話を聞かされた          | 1  | 2  |
| (4) 故意に体をさわられた                  | 1  | 2  |
| (5) 交際を強要された                    | 1  | 2  |
| (6) 宴会でお酒やデュエットを強要された           | 1  | 2  |
| (7) 性的行為を強要された                  | 1  | 2  |
| (8) 結婚・妊娠、交際や交流についてしつこく聞かれた     | 1  | 2  |
| (9) 容姿について傷つくようなことを言われた         | 1  | 2  |
| (10) ヌード写真などを、目に付くところに置かれた      | 1  | 2  |
| (11) 「女(男)のくせに」といった差別的な言い方をされた  | 1  | 2  |
| (12) 性別による偏見に基づく発言をされた          | 1  | 2  |
| (13) その他( )                     | 1  | 2  |

問17 「DV(ドメスティック・バイオレンス)/デートDV」についてお尋ねします。

あなたは、配偶者や恋人・交際相手など親密な関係にある(あった)者から次のようなことをされたことがありますか。(1)から(4)までのそれぞれについて、右の1～3の中からあてはまるものを1つお選びください。

|                                                                                    | 1、2度<br>あった | 何度も<br>あった | まったく<br>ない |
|------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------------|------------|
| (1)身体的DV<br>例:なぐられた、蹴られた、物を投げつけられた、突き飛ばされた、など                                      | 1           | 2          | 3          |
| (2)精神的DV<br>例:人格を否定するような暴言を言われた、交友関係を細かく監視された、家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた、など | 1           | 2          | 3          |
| (3)経済的DV<br>例:生活費を充分渡さない、借金を強いる、収入を教えない、家計に厳しく口を出す、など                              | 1           | 2          | 3          |
| (4)性的DV<br>例:望まない性行為を強要、避妊に協力しない、性的な画像や動画を公開すると脅迫を受けたり、実際に公開された、など                 | 1           | 2          | 3          |

(1)～(4)のうち1つでも 1 または 2 を選んだ人は、問17-1、問17-2へ。  
それ以外の人は問18へ。

問17-1 問17の(1)～(4)のような行為を経験した後、あなたは怎么样了か。  
(○は1つ)

1. 相手と別れた
2. 別れたかったが別れられなかった
3. 別れたいとは思わなかった

問17-2へ(次ページ)

問17-2 あなたはそのことを、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。  
(○はいくつでも)

1. 警察に連絡・相談した
2. 法務局や人権擁護委員、民生委員などに相談した
3. 配偶者暴力相談支援センター、県子ども・女性・障害者支援センター  
(女性相談支援センター)、男女共同参画推進センターなどに相談した
4. その他の公的機関に相談した
5. 民間(NPOを含む)の専門家や専門機関(弁護士、カウンセ  
リング機関、民間シェルターなど)に相談した
6. 医療関係者(医師、看護師、助産師など)に相談した
7. 学校関係者(教員、スクールカウンセラーなど)に相談した
8. 家族や親戚に相談した
9. 友人、知人に相談した
10. どこ(誰)にも相談しなかった(できなかった)
11. その他( )

➡ 問 17-3 へ

問17-3 あなたが、どこ(誰)にも相談しなかった(できなかった)理由について、  
あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. どこ(誰)に相談してよいのかわからなかった
2. 恥ずかしくて誰にも言えなかった
3. 人に知られると、これまでどおりの付き合い(仕事や学校、地域などの  
人間関係)ができなくなると思った
4. 相談しても無駄だと思った
5. 加害者に「誰にも言うな」とおどされた
6. 仕返しを怖かった(もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまきなど)
7. 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思った
8. 自分さえ我慢すれば、このままやっていけると思った
9. 世間体が悪い
10. 他人を巻き込みたくなかった
11. そのことについて思い出したくなかった
12. 自分にも悪いところがあると思った
13. 相手の行為は愛情の表現だと思った
14. 相手と別れた後の自立に不安があった(経済的なこと、子どものこと  
など)
15. 相談するほどのことではないと思った
16. その他( )

問 18 あなたは、セクハラ(セクシュアル・ハラスメント)やDV(ドメスティック・バイオレンス)を防止するためにはどのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つまで)

1. 加害者への処罰を強化
2. 加害者の更生を促すカウンセリングなどの加害者対策を強化
3. 暴力を許さない社会づくりに向けた意識啓発の充実
4. 被害者のための相談所や保護施設の整備
5. 相談所や保護施設の周知
6. あらゆる差別や暴力を許さないよう、学校・地域・職場・家庭での人権を尊重する教育の充実
7. テレビや新聞などのメディアが、性・暴力表現の倫理規定を強化
8. 過激な内容の雑誌、ビデオ、ゲームソフト等の販売や貸し出しを制限
9. 特に必要なことはない
10. わからない
11. その他( )



## 5. 男女共同参画社会づくりについて

問 19 現状として、自治会長、審議会委員や議員などに就く女性は多くありません。  
今後、政策決定の場へ女性が参画していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識を改める
2. 男性優位の組織運営を改める
3. 家族の支援・協力が得られるようにする
4. 女性の活動を支援するネットワークをつくる
5. 女性の参画を積極的に進めようとする人を増やす
6. 女性自身が参画する意識を高める
7. 特に必要なことはない
8. わからない
9. その他( )

問 20 「男女共同参画社会の実現」を目指して、今後、行政はどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

1. 法律や制度面の見直し
2. 男女の平等と相互の理解や協力についての意識啓発や広報・PR
3. 男性に対し、子育て・介護・地域活動を行うよう、教育・啓発
4. 女性に対し、積極的な社会参画や就労継続のための教育・啓発
5. 国・地方公共団体の審議会委員や議員など、政策決定の場に女性を積極的に登用
6. 民間企業・団体等の管理職に女性の登用が進むように支援
7. 女性が少ない分野(研究者等)における女性の進出を支援
8. 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場の提供
9. 長時間労働の見直しや在宅勤務の普及など働き方の見直し
10. 子育てや介護の施設やサービスの充実
11. 子育てや介護のための短時間勤務や休暇など制度の充実
12. 子育てや介護で退職した人の再就職支援のため、就業情報の提供、職業訓練の充実
13. 性に関する被害(セクハラ、DVなど)の根絶と被害者に対する支援の充実
14. 特に必要なことはない
15. わからない
16. その他( )

男女共同参画社会づくりに関する県の施策について、ご意見やご要望がありましたら  
下記の欄へご記入ください。

(ご意見・ご要望)

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。